

BT 剤・BC 菌を葉面散布

BC 菌の用途は難分解性の有機物を分解し、有用菌を増やして腐敗状態から発酵状態に導きます。

N 農場では、可能な限り無農薬での栽培を心がけているので、青虫・コナ蛾・夜盗虫等の防除に BT 剤を葉面散布していました。防除効果には物足りませんでした。殺菌剤の代わりに BC 菌を葉面散布し始めてから BT 剤の効果が顕著に見られるようになりました。そこで BC 菌の葉面散布と関連を確信し、BT 剤と BC 菌と一緒に葉面散布するようになり、なお有効な事を確認しているとの事。

メカニズムは、殺菌剤をやっていないから？ 作物が元気になっている？ BT 剤と BC 菌の相性が良い？ 等？

散布例 芋虫類駆除

※散布倍数は、BT 剤：説明書の通り、BC 菌：500 倍を目安に。月 2 回・害虫の活性が高い次期 3~4 回散布

N 農場 葉面散布 BT 剤・BC 菌各 1000 倍希釈 120ℓ 以上/10a 月 2 回



ケール（3月20日～7月20日現在収穫中）：月 2 回葉面散布（他の虫もいないとの事?）



畑わさび：コナ蛾が飛びはじめて農薬が効かないとの事で、N 農場からの情報で同じ条件だが毎週散布した。ひと月経って確認すると、「うちは効いたようです。」との事。



7月1日



7月18日

我が家の柿の木：7月1日 同上の葉面散布しているのに、イラ蛾が発生、しかし 4 匹ほどしか生きていない。7月18日イラ蛾もいないし以降食い荒らされた形跡もない。（BT 剤 2000 倍 BC 菌 500 倍希釈 6月22日・7月6日散布）